

第 41 年度（2025 年度）ソフトウェア品質管理研究会 分科会紹介

「セーフティ&セキュリティ～自動車、宇宙、航空、鉄道、医療分野などに用いられる最先端安全技術を習得！サイバーセキュリティ技術へ応用！～」

本分科会は「いつの時代も社会の最優先事項である安全安心をソサエティ 5.0、サイバーレジリエンス時代のシステムにおいてどのように実現するか」をテーマとしています。セーフティの分野では鉄道、自動車、宇宙などの分野で発達してきたシステム理論に基づく安全性工学 STAMP やレジリエンスエンジニアリングなどの最先端技術を学びます。例えば STAMP/STPA は意図した機能の安全(SOTIF) Annex に参照されるなど、安全性が重視されるシステムにおいて、人や環境を踏まえたリスクの洗い出しに有効な要件を提示できる方法です。本分科会ではこれらのセーフティ分野のリスク分析、事故分析方法を学び、さらに世界でもいち早くサイバーセキュリティに応用する技術を実践的に研究してきました。その結果、設立 5 年目には研究会活動の成果を活かした 1 冊の本「セーフティ&セキュリティ入門」も出版しています。

本年度は生成 AI を使って、2024 年正月の羽田空港機衝突事故をテーマに事故分析手法 CAST の効率的な分析に取り組みました。演習コースとして多くの理論と手法を習得し、宇宙業界やサイバーセキュリティの専門家の講義も受講できます。有意義な経験を積んで、貴方の仕事に役立ててください。積極的な参加をお待ちします。